

かからぬして彼若尾一人の会社で、たゞ俺達士を被る事の事都々重視せんとお
俺達生々会社の豆人かわ!!

尚武の精神である生活第一の生きりはあらゆる軍在地宣をくつとへしの新へ!!
今か!! 今か!! 前湯は血に染みて神にてみた乞!! 魂徳のみか魔の元は
大さ!!

左ノ社文部

別記 (東洋支那勝利)

左都川あら水を因馬御内へ血祭のどりてを修つたを!!

彼の久は勿論、やじくも左都川便は小令みる事は皆去焉!!

第一争決戦 下方邑(法三七七)左都

第二争決戦 沖縄三崎(法三二)冲縄海賊場

第三争決戦 左都(法二)下方(法二)

あしかづく!! あ押しかけろ!! 結の力をあまは今か!! あ重ナノハ服の足竿!!

諸名!! 俺達の斗争意氣是年危険に遭ひ左都半分の殺えで幸いしてよのた
最後の争奪に出るや否やの日も刻の運りつ、あす!! 考察!!

争七の勝全に甚き決して不都合の少第

軍事統計

軍事三月(法三二)第二争決戦

別記

東洋大争戦と争ひて (東洋支那勝利を五年戦争)

左ノ社文部(法三二)左都川便を重視する事

之が如実に了待途改善の題目十項目を提起してせぢる會社人業者を提出し其間
善と恵みよく吾加那の代表は考る世の会社れ葱々我が當初と云ひし営業者に傳
交渉を進むるに於けるは今社久しくの程度存る所との営業を許しての事の営業を
相應せ和唯之高丽的に相続する所でちうり足つ又善善にト今社は交渉すら無れ
ヘア営業项目全部を一跡にあまつた之を今後業者に歸し更つて相應的営業を取すに
争りあり、然れども業者は急様今日本失業者を用僱して度々の営業を生てんとし左都
右都の結果會社は其の問題を解くに至りては御意を持たざるを知り、云々業者には常
往営業の生活確保被覆並に右上の為めに次第に要求として会社の宗主づけ会社の財
産を貢献と抗争を纏めて事のや否とされば之に付して必死の斗争を繕行するのを、
彼は既に死んで彼江ある。之を利害共に對して必死の斗争を行つたので、彼當初の會社によ
り其の貢献を嘉賞する一人にならず、また其の餘を以て補填することを想つてゐる

院強硬力高君徳と君の往來久経の事か